

琵琶湖疏水 略年表

和暦		西暦	事 項
明治期			
明治	14	1881	北垣国道が第3代京都府知事に就任
	16	1883	工学士・田邊朔郎が疏水工事担当として京都に着任
	18	1885	琵琶湖疏水（第1琵琶湖疏水）建設に着手
	22	1889	市制施行により京都市が誕生
	23	1890	琵琶湖疏水（第1琵琶湖疏水）が完成
	24	1891	琵琶湖疏水運輸船第1号が就航 第1期蹴上発電所が完成，送電開始（インクラインドラム工場ほか） 蹴上インクラインが営業開始
	26	1893	京都織物株式会社が琵琶湖疏水の発電を利用して工場内に電灯をともす
	27	1894	鴨川運河が完成
	28	1895	伏見インクラインが完成 琵琶湖疏水の発電を利用し，日本初の路面電車である京都電気鉄道伏見線が開業
	36	1903	日本初の鉄筋コンクリート橋・第11号橋が完成（第1疏水第3トンネル東）
	37	1904	西郷菊次郎が京都市長に就任
	41	1908	第2琵琶湖疏水建設・上水道整備（蹴上浄水場建設）・道路拡築及び市電敷設の「京都市三大事業」起工式を挙行
	45	1912	第2期蹴上発電所が完成 第2琵琶湖疏水・蹴上浄水場が完成（上水道の供給） 市電が営業開始 御所水道が完成
大正～昭和前期			
大正	3	1914	夷川発電所が完成 伏見（墨染）発電所が完成
昭和	2	1927	松ヶ崎浄水場が完成
	11	1936	第3期蹴上発電所（現在稼働中の施設）が完成
	17	1942	京都市，配電統制令により電気事業を関西配電（現在の関西電力）に移管
	18	1943	伏見インクライン休止
	23	1948	蹴上インクライン休止
	24	1949	旧御所水道施設を改造した九条山浄水場が完成（1987（昭和62年）休止）
	26	1951	琵琶湖疏水の舟運が一旦途絶える
昭和後期			
昭和	45	1970	諸羽トンネルが完成（国鉄湖西線の建設に伴って第1琵琶湖疏水の水路を変更） 新山科浄水場が竣工
	47	1972	疏水分線「哲学の道」整備完了
	49	1974	琵琶湖疏水大津・蹴上間全線の改修完了（昭和の大改修）
	52	1977	蹴上インクラインを復元
	57	1982	蹴上インクライン広場に田邊朔郎の銅像を建立
	58	1983	南禅寺水路閣と蹴上インクラインを京都市の史跡に指定

	59	1984	「哲学の道」のゲンジボタル及びその生息地としてが京都市の登録天然記念物になる
	63	1988	京阪電車地下化に伴う鴨川運河の暗渠化
平成～			
平成	元	1989	琵琶湖疏水記念館が開館
	2	1990	琵琶湖疏水竣工百周年・夷川船溜の北垣国道像を再建
	8	1996	第1琵琶湖疏水関連施設（12箇所）が国の史跡に指定
	11	1999	第2疏水連絡トンネルが完成
	16	2004	琵琶湖疏水が「疏水百選」（農林水産省）に選定
	19	2007	琵琶湖疏水関連遺産等が「近代化産業遺産」（経済産業省）に認定
	27	2015	大津・山科・蹴上間で「琵琶湖疏水通船復活」試行事業を開始
	28	2016	蹴上発電所がI E E Eマイルストーンに認定
	30	2018	琵琶湖疏水記念館の累計入館者数が250万人に到達 琵琶湖疏水通船事業が本格事業として開始